



本校の魅力 父母の会 会長 佐々木 啓二

初秋の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃より当会の運営にあたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、本校の沿革は、旧陸軍省軍馬補充部六原支部の跡地を利用し、大正6年設置の県立農事試験場練習部や昭和7年設置の県立六原青年道場などが前身で、昭和の大合併など様々な変遷を遂げ、平成19年には専修学校に認可されるなど、数多くの先輩方を輩出している歴史ある県内唯一の農業大学校であります。更に本校の魅力は、北上平野の自然豊かな場所に位置し、農地や建物等を合わせた敷地面積は308haと全国一の土地面積を有し、農業を学ぶには最適の環境下にあるといえます。
過日、本校の外部評価委員会が開催され、教育概要説明や昨年度の自己評価結果等について報告を受けました。本校を取り巻く情勢では、基幹的農業従事者数が高齢化とともに加速的に減少し、本県農業の先行きが危うい状態となっています。

また、同様に農業系学科学生も少子化の影響を受け減少傾向に推移し、その中において、本科においても定員割れの状況が続いています。そこで、わたくしは、その課題解決に向けて、入り口部の強化が必要不可欠であると考え、その方策のひとつとして、本校と農業高校との連携の必要性を提言させて頂きました。例えば、本校父母会が「橋渡し役」となり、農業高校PTAと協働で社会貢献活動を取り組むことにより、保護者及び生徒が本校を身近に感じ、関心を持つことで、農業を志す意欲ある学生の確保、ひいては地域からの信頼や就職活動に繋がることと思います。活動内容については、今後、先生方と相談しながら実践して参りたいと考えています。加えて、今般、人生100年時代を迎え、「農業を学びたいシニア世代」のために、学舎の門戸を広げることや、或いは、「魅力ある複合科（米+畜産など）の創設」も併せて提言させて頂きました。また、もうひとつの本校の課題として、施設の老朽化がありますが、このことについては、先生方も大変ご苦労されております。先日、早速のところ、女子寮の駐輪場を増設頂きましたことに感謝申し上げたところです。

農業大学校は、2年間で農業の技術や経営を学ぶことができる、即ち農業専門の学校ですから、学生の皆さんは、実践的な農業技術を学びながら、農業大学校でのスクールライフを思う存分謳歌してください。

本会は、本校の「新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」に基づき、学校との緊密な連携のもとに、皆さん一人ひとりが、目標の実現と、より良い大学校生活が送れるよう支援して参ります。

結びに、会員の皆様、先生方、事務局の皆様並びに本校の活動に対し様々な援助を頂いております後援会の皆様方には、本会への大所高所からのご指導を今後ともよろしくお願いいたします。

父母の会総会開催

令和3年度父母の会総会は、新型コロナウイルス感染症対策のため、理事会を5月20日に開催し、総会議案及び役員を協議したうえで、5月25日に議案送付の形で開催したところです。6月4日までいただいた会員からの書面回答に基づき、いずれも賛成多数で承認されました。

【議題及び議決結果】

議案番号	議題名	書面議決回答数				結果
		回答数	承認	不承認	無回答	
1	令和2年度父母の会事業報告並びに一般会計及び特別会計決算について	79	79	0	0	承認
2	令和3年度父母の会事業計画（案）並びに一般会計及び特別会計予算（案）について	79	79	0	0	承認
3	役員を選任について	79	79	0	0	承認

令和3年度父母の会役員名簿

役職名	学科・経営科等	氏名（学生名）	市町村名
会長	農産園芸・果樹1年	佐々木 啓二（ひまわり）	奥州市
副会長	畜産・肉畜2年	伊藤 博恵（龍雅）	奥州市
同	畜産・肉畜1年	岩田 絵美（怜馬）	奥州市
理事	農産園芸・農産2年	谷川 克芳（瑛希）	花巻市
同	農産園芸・野菜2年	八重樫 綾子（さくら）	北上市
同	農産園芸・花き2年	菅原 奈々江（夏音）	一関市
同	畜産・酪農2年	菊地 克郎（莉奈）	一関市
同	農産園芸・農産1年	千葉 篤志（晟良）	花巻市
同	農産園芸・農産1年	佐藤 理英（順哉）	宮城県登米市
同	畜産・酪農1年	渡辺 智恵子（蓮）	八幡平市
監事	農産園芸・果樹2年	佐藤 雅彦（悠碧）	奥州市
同	農産園芸・野菜1年	千葉 博（菜乃子）	平泉町

達増知事から激励の言葉をいただきました！

6月1日に本校へ達増知事をお招きし、「ふるさと振興における農業の役割と若者・女性への期待～幸福を守り育てる希望郷いわての実現に向けて～」と題し講話をいただきました。

講話は、2019年度に策定された「いわて県民計画」が目指すもの、ICTを活用したスマート農業など次世代を見据えた農業の展開や若者・女性の活躍支援についてお話しいただき、地域農業の担い手として期待される学生の修学意欲を高めることを目的として開催されたものです。

当日、知事からは、県民計画のうち農林水産業高度化推進プロジェクトについて、本校でも導入されている複合環境制御温室や畜産ICT技術などを例に、県が推進するスマート農業の取組をお話



講話する達増知事



御礼の言葉とフラワーアレンジメント贈呈

しいいただきました。また国際水準GAPの推進について、本校が県内の最先端を切り拓いたと評価されたほか、地域で活躍する先輩を例に、「農業に関わることがふるさと振興にもつながる」と、本校学生に対し将来の地域農業の担い手としての期待を述べられました。

講話の後、代表学生6名が夢の実現に向けた取組を発表し、知事に対し農業への熱い思いを語り、知事から力強い激励の言葉をいただきました。

最後に知事から、「農業分野に大きな可能性があることを見定めて農業大学校に入学したことはそれ自体が一つの成功と言える、歴史と伝統のある農業大学校では最先端の農業技術も導入されており、自信を持って勉強して欲しい」と全学生に対して激励をいただきました。

学生自治会 スポーツ大会

学生自治会主催による経営科対抗のスポーツ大会が6月23日（木）に開催されました。経営科毎にこだわりのオリジナルクラスTシャツを身にまとい、バスケットボール、長縄跳び、バレーボール、フットサルについて、白熱した試合と応援が繰り広げられました。

総合優勝は、長縄跳びバスケットボールとバレーボールで1位となった、肉畜経営科でした。

学生同士交流が図られ、有意義な大会となりました。



学生自治会 第1回定期総会

本年の決議は、書面により行いました。決議書は、ほぼ全員の学生から提出があり、令和2年度の事業実績と決算報告、令和3年度の事業計画（案）と予算（案）や、各委員会・クラブの活動方針等について、すべて了承されました。

令和3年度の自治会は、「学生の自発的な意見・要望を加味して、現在の学校生活をより有意義なものにする」ことを方針に活動していきます。

オープンキャンパス2021開催！

農大では、本校への理解を深め今後の進路選択に役立ててもらうため、高校生等を対象にオープンキャンパスを7月31日（土）と8月6日（金）の2回開催し、第1回目には22校から49名、第2回目には24校から49名の計98名の皆さんに参加いただきました。

参加者の皆さんは、農産、野菜、果樹、花き及び畜産の5コースに分かれ、技術体験及び農大生との交流、また施設見学を行いました。

技術体験では、在校生から卒業研究の説明を受けたり、イネの幼穂観察やコメの食味体験、環境制御温室で栽培したトマトなどの収穫体験、ブルーベリーの収穫とジャムづくり実習、切り花の収穫・ミニアレンジメントの作成、牛乳飲み比べ、バターづくりや飼料の重さ実感体験など、各コースが工夫を凝らした内容で、参加者の皆さんに農大での学びの一端を体験してもらいました。

参加者の皆さんからのアンケートでは「技術体験でやさしくわかりやすく指導してもらった」「在校生から学校生活の様子を聞いてイメージができた」「農大に入学したい気持ちが強くなった」などの御意見が寄せられました。今後の進路選択に役立ててもらえれば幸いです。

気温30度を超す暑さの中でしたが、参加者の皆さんや在校生の皆さんの御協力により、無事開催することができましたことに感謝を申し上げます。



コメの食味体験
（農産コース）



環境制御温室で栽培したトマトの収穫体験
（野菜コース）



ブルーベリージャム作り実習
（果樹コース）



ミニアレンジメントの作成
（花きコース）



バターづくり体験
（畜産コース）



飼料の重さ実感体験
（畜産コース）

新岩手農業協同組合からおコメを寄贈

令和3年6月30日、新岩手農業協同組合（本所：滝沢市）の苅谷雅行代表理事専務らが来校し、本校学生へ県産「あきたこまち」300キロを寄贈いただきました。これは、同JAが新型コロナウイルス感染拡大によって学生生活に影響を受けている県内の学生を支援する目的で令和2年度から実施している取組みで今回が2年目です。本校のほか岩手大学、盛岡大学、県立大学及び宮古短大へ合計3,000キロのおコメが寄贈されました。

6月30日に行われた本校への贈呈式には、学生代表として学生自治会の谷川瑛希会長（農産経営科2年）、竹ヶ原藍花副会長（野菜経営科2年）が出席し、苅谷代表理事専務らからおコメを受け取り、「いただいたおコメをたくさん食べて授業や実習を頑張っていきたい。」と感謝の言葉を述べました。

本校は全寮制であり、学生は毎日3食を食堂で取るため、食堂では一日約25キロのおコメを消費します。寄贈されたおコメは、7月1日から10日間程度学校の食堂で提供され、その期間は特別メニュー（お米代分でデザート追加等）となったこともあり、学生は感謝の気持ちを込めながらごはんをいただきました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、本校では学校行事や校外活動など少なからず学業への影響を受けていますが、このような取組みに感謝をしながら、今後も学生の目指す将来の夢の実現に向けて、教職員一丸となり取り組んでいきます。



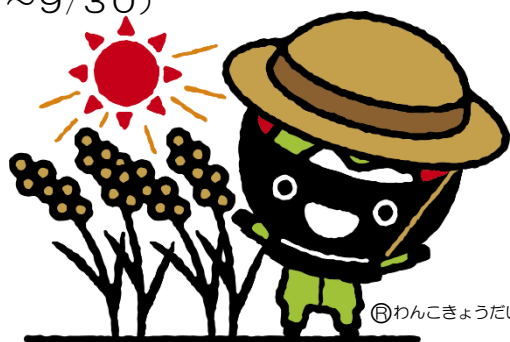
贈呈式での記念



美味しくいただきました

◇当面の行事予定◇

- 8/30 1年前期定期試験（～9/2）
- 9/14 農家派遣実習（野菜・果樹・花き経営科、～9/28）
- 9/16 農家派遣実習（農産・酪農・肉畜経営科、～9/30）
- 9/21 2年前期定期試験（～9/24）
- 10/14 本科推薦入学試験
- 10/30 農大祭（～10/31）
※開催に向けて協議中
- 11/17 校内意見発表会
- 11/17 学生自治会総会
- 11/19 進路応援ゼミ
- 11/30 卒業研究経営科別発表会（～12/2）
- 12/ 3 元気の出るセミナー
- 12/ 8 本科前期一般入学試験
- 12/16 卒業研究成果全体発表会
- 12/24 1年保護者懇談会
- 12/24 冬季休業（～1/4）



©わんこきょうだい



岩手県のPRキャラクター「わんこきょうだい」